

磐梯朝日国立公園
(磐梯吾妻・猪苗代地域)

公園区域及び公園計画変更書

[第6次点検]

(環境省案)

平成 年 月 日

環 境 省

目 次

第1 公園区域の変更	1
1 変更理由	1
2 指定理由の変更内容	2
3 地域の概要の変更内容	8
4 変更する公園区域	21
第2 公園計画の変更	41
1 変更理由	41
2 基本方針の変更内容	42
3 規制計画の変更内容	44
(1) 保護規制計画及び関連事項	44
ア 特別地域	44
(ア) 第2種特別地域	48
(イ) 第3種特別地域	50
イ 関連事項	52
(ア) 普通地域	52
ウ 面積内訳	54
4 事業計画の変更内容	70
(1) 施設計画	70
ア 利用施設計画	70
(ア) 集団施設地区	70
(イ) 単独施設	71
(ウ) 道路	73
a 車道	73
b 歩道	75
(エ) 運輸施設	77
5 参考事項の変更内容	93
(1) 過去の経緯	93

第1 公園区域の変更

1 変更理由

磐梯朝日国立公園は、東北地方中南部に位置し、山形県、福島県及び新潟県の3県に跨り、出羽三山・朝日地域、飯豊地域、磐梯吾妻・猪苗代地域からなり、昭和25年9月5日に指定された。それぞれの地域は、朝日連峰や飯豊連峰に代表される雄大な山岳景観、猪苗代湖や裏磐梯湖沼群の湖沼景観を有しており、登山や自然探勝をはじめ多様な利用がなされている。

磐梯吾妻・猪苗代地域は、山形県と福島県に跨っており、磐梯山とその北側の裏磐梯を有する磐梯地区、西吾妻山を最高峰とする吾妻連峰と安達太良山を包括する吾妻地区、猪苗代湖を包括する猪苗代地区の3地区に分けられる。

磐梯地区は、明治に噴火した磐梯山の荒々しい山肌とその噴火によって形成された裏磐梯の300とも言われる湖沼群が特有の景観を呈している。

吾妻地区は、2,000m級の新旧火山が連なり、オオシラビソなどの天然林が広がり、山中には湿原が点在し、地区内には数多くの温泉が湧出している。また、東側の安達太良山も荒涼とした火口原が広がっている。

猪苗代地区は、磐梯山麓に位置し、猪苗代湖は国内で4番目の面積を誇る広大な湖であり、冬期にはコハクチョウをはじめとした渡り鳥の飛来地となっている。

本地域では、これらの山岳地や湖沼をめぐる自然探勝、登山、スキー及び温泉入浴などの利用が多い。

今回の第6次点検においては、前回点検（平成23年実施）時からの現地の利用実態、社会情勢の変化等を勘案し、本地域における公園区域の一部を変更するものである。

2 指定理由の変更内容

指定理由を次のとおり変更する。

(表 1 : 指定理由変更表)

変更後	変更前
<p>①景観(同一風景中、我が国の風景を代表する傑出した自然の風景地) 磐梯朝日国立公園は、東北地方中南部に位置し、山形県・福島県・新潟県の 3 県に跨り、出羽三山・朝日地域、飯豊地域及び磐梯吾妻・猪苗代地域の 3 つの地域からなる。</p> <p>出羽三山・朝日地域は、地盤は第三紀層から成り、第四紀初期にかけて隆起し形成された、主に花崗岩類が核心部を構成している大朝日岳、西大朝日岳等からなる朝日山地と、その北端に位置する第四紀後期に形成された成層火山である月山、そして羽黒山及び湯殿山からなる出羽三山を含んでおり、火山性山地と非火山性山地で構成されている。飯豊地域は、北部の荒川渓谷と大日岳、飯豊山、御西岳等 2,000m 級の山々からなる飯豊山地から構成され、飯豊山地は朝日山地と同じく花崗岩の隆起山地である。</p> <p>両地域はともに世界有数の豪雪地帯であるため、各所に万年雪が見られる。また、多雪に加え、強風地帯でもあるため、全般に冬季の季節風による偏東積雪の影響を受け、雪食非対称地形が顕著であり、東西非対称の地形を形成している。両地域は極めて原始性の高い山岳地帯が広がり、山麓部にはブナを主体とする落葉広葉樹林が広く展開する。</p> <p>飯豊山地及び朝日山地の特徴のひとつに、偽高山帯が展開していることが挙げられる。これは、温度条件では針葉樹林となるべき亜高山帯がミネカエデやナナカマドなどの落葉低木群落やササ原に</p>	<p>(※指定当初の公園計画書には、以下の各項目は無し。指定は、昭和 25 年 9 月 5 日厚生省告示第 232 号による。)</p>

変更後	変更前
<p>置き換わり、高山帯に似た景観を持つ植生帯となることである。また、氷河の侵食や堆積作用により形成される氷河地形や、地中の水分が昼夜の温度差で凍結と融解を繰り返すことにより形成される周氷河地形もみられる。この周氷河作用により形成された平滑な斜面により、膨大な積雪が蓄積され、雪渓が多く形成されている。山頂や尾根付近では、冬季節風の風下側に相当する山体東斜面に雪田群落（ユキノリ）が広がり、飯豊地域の固有種であるイイデリンドウをはじめとした豊富な高山植物がお花畑を形成している。また、ハイマツ低木林や風衝草原といった風衝植生がみられる。広大なブナ等の原生林に覆われた山地には多くの野生動物が生息しており、ツキノワグマやニホンカモシカ等の大型哺乳類のほか、イヌワシ、クマタカ等の猛禽類も生息している。また、出羽三山や飯豊山は古くより山岳信仰の霊山とされてきた。出羽三山神社参道の羽黒山のスギ並木は学術的にも貴重であり、羽黒山周辺は歴史的景観地として知られている。</p> <p>磐梯吾妻・猪苗代地域は磐梯火山や猫魔火山、吾妻火山、安達太良火山等の山々からなる磐梯吾妻地区と、我が国4番目の面積を誇る猪苗代湖を中心に広がる猪苗代地区を合わせた地域である。爆裂地形が最も顕著な成層火山である磐梯山は、明治21年の大噴火により形成された爆発型の馬蹄形カルデラ地形が特徴である。当該噴火による山体崩壊により発生した岩屑（がくせつ）なだれは、磐梯山の北麓に多数の流れ山を形成し、それらの間の凹地には五色沼をはじめ数々の火山性湖沼群が形成され、猪苗代湖に注ぐ長瀬川の上流が堰き止められ、桧原湖、小野川湖及び秋元湖が出現した。一度堆積した岩屑</p>	

変更後	変更前
<p>なだれは、その後長年にわたり河川によって土砂が運ばれ、猪苗代湖の三角州を前進させている。猪苗代湖周辺には、高位、中位、低位の3段の湖岸段丘が発達しており、湖沼の水深は約94mあり、地殻の構造運動により形成されたと考えられる。約30万年前頃までに陥没によって猪苗代盆地ができ、その後磐梯山南西側が爆発して流下した岩層なだれ堆積物が、猪苗代盆地の流出河川を堰き止めて、猪苗代湖の堰き止めの原型を形成したと考えられている。また、磐梯山の南麓には、翁島をはじめとする明治21年以前の大噴火による岩層なだれ堆積物が見られる。吾妻火山群は、東西南北約20kmにわたり広がる成層火山であり、東北の火山フロントの一角を占め、主に安山岩や玄武岩質安山岩からなる溶岩流やテフラで構成される。吾妻火山には西吾妻山、中吾妻山、東吾妻山、一切経山、吾妻小富士などが含まれ、約100万年前頃から活動が開始され、約40-50万年前頃に東吾妻山が、約30万年前頃に一切経山が形成された。安達太良火山は、主に安山岩質の噴出物からなる小規模な火山が東西南北約15kmの範囲に及ぶ複合火山であり、鬼面山、箕輪山、安達太良山などから構成される。安達太良火山の主体部は約10-40万年前に形成されたと考えられ、火山が南北に長く列を成すために東西の斜面が崩壊しやすく、多くの岩層なだれ堆積物が見られる。磐梯吾妻地区では、火山活動により、火山の影響を受けている植生と比較的火山の影響を受けていない植生とで、異質の植作物群落の発達が見られる。磐梯山周辺では、火山の泥流によって埋め尽くされた斜面は乾燥に強いアカマツ、ミネヤナギなどの火山荒原植生が見られ、磐梯山上部には高山ハイデや風衝草原が見られる</p>	

変更後	変更前
<p>が、噴火の影響が少なかった雄国沼にはミズバショウ等豊富な湿原植物が群落を成し、ニッコウキスゲ、リュウキシンカ、コバイケイソウ、ヒオウギヤマメ等が見られる。また、浄土平を囲む一切経山や吾妻小富士は比較的新しい火山であり、砂礫地にはイタドリやコマススキ、ミネヤナギ等の火山荒原植物が見られる。一方で、桶沼付近ではキタゴヨウ、コマツガ等の亜高山帯植物やハクサンシヤクナゲやミネカエデなど湿原植物、高山植物群落が見られる。吾妻山周辺には、オオシラビソ、ミズナラ、ブナ等の森林が広がり、ヤエハクサンシヤクナゲの自生地が存在し、吾妻山山頂部には高山植物群落 distributes。猪苗代地区は、湖岸の植生はアカマツが主で、北側湖岸には学術的にも貴重であるミズスギゴケ群落がある。磐梯吾妻地区は野生生物も豊富に生息しており、クマタカ、オオタカ、ハヤブサ等の猛禽類の他、大型哺乳類のツキノワグマ及びニホンカモシカが分布している。猪苗代湖は冬季にハクチョウ類が渡来すること で知られている。</p> <p>以上より、磐梯朝日国立公園は、出羽三山・朝日地域及び飯豊地域の我が国最大級の豪雪環境によりもたらされた高山帯及び亜高山帯の自然林生態系と、磐梯吾妻・猪苗代地域のきわめて特徴的な爆裂火口を有する成層火山（磐梯山）を中心とした火山連峰及びこれらを風景型式とし、原生的な自然、豪雪環境によりもたらされる自然林生態系、壮大な火山景観、火山活動により造形された清らかな湖沼群といった非常に富んだ自然景観を持ち、それぞれ傑出したことから、我が国を代表する自然の風景地である。</p>	

変更後	変更前												
<p>②規模 本国立公園の区域面積は 186,375 ha である。</p> <table border="0"> <tr> <td>出羽三山・朝日地域</td> <td>76,610 ha</td> </tr> <tr> <td>飯豊地域</td> <td>41,550 ha</td> </tr> <tr> <td>磐梯吾妻・猪苗代地域</td> <td>68,215ha</td> </tr> </table> <p>③自然性 本国立公園の原生的な景観核心地域は、月山、磐梯山、吾妻山及び安達太良山に代表される主要な火山の山頂及び山稜部、桧原湖等の湖沼並びに朝日山地及び飯豊山地の山頂及び山稜部周辺であり、その区域面積は 50,948ha である（特別保護地区及び第 1 種特別地域）。</p> <table border="0"> <tr> <td>出羽三山・朝日地域</td> <td>18,100 ha</td> </tr> <tr> <td>飯豊地域</td> <td>22,806 ha</td> </tr> <tr> <td>磐梯吾妻・猪苗代地域</td> <td>10,042ha</td> </tr> </table> <p>④利用状況 本国立公園の利用は、主に月山や飯豊山、磐梯山などを中心とした登山や、出羽三山における山岳信仰を要とした歴史探勝、吾妻小富士や裏磐梯の五色沼をめぐる自然探勝、山岳道路である磐梯吾妻スカイライン・磐梯山ゴールドライン沿線でのドライブ、スキー・スノーボード、火山活動を背景に点在する高湯温泉や土湯温泉等における温泉入浴、また、猪苗代湖におけるカヤック・ボートでの遊</p>	出羽三山・朝日地域	76,610 ha	飯豊地域	41,550 ha	磐梯吾妻・猪苗代地域	68,215ha	出羽三山・朝日地域	18,100 ha	飯豊地域	22,806 ha	磐梯吾妻・猪苗代地域	10,042ha	
出羽三山・朝日地域	76,610 ha												
飯豊地域	41,550 ha												
磐梯吾妻・猪苗代地域	68,215ha												
出羽三山・朝日地域	18,100 ha												
飯豊地域	22,806 ha												
磐梯吾妻・猪苗代地域	10,042ha												

変更後	変更前
<p>覧、湖水浴やキャンプ、桧原湖におけるカヤック・ボートでの遊覧、キャンプ、ワカサギ釣り等があげられる。</p> <p>以上、国立公園及び国定公園の候補地の選定及び指定要領に記載される要件を満たすことから、本地域を国立公園に指定する。</p> <p>また、本国立公園のテーマを「古の姿を守り続ける遠^{もろ}遠の花々、変わらぬにはいらぬ火山の大地」とし、歴史の古い非火山の隆起山塊と、現在も変化を続ける比較的年代が新しい火山という対照的な自然景観を有する国立公園として、風致景観の保全と適切な利用を推進する。</p>	

3 地域の概要の変更内容

地域の概要を次のとおり変更する。

(表 2：地域概要変更表)

変更後	変更前
<p>(1) 景観の特性</p> <p>ア 地形、地質</p> <p>磐梯吾妻・猪苗代地域は、大磐梯山、楯ヶ峰、赤埴山からなる磐梯火山や猫魔ヶ岳、古城ヶ峰からなる猫魔火山、そして西吾妻火山、中吾妻火山や東吾妻火山からなる吾妻火山、安達太良火山等の火山地域で構成される磐梯吾妻地域と猪苗代湖を中心に広がる猪苗代地域を合わせた地域であり、磐梯朝日国立公園の南東部に位置している。磐梯吾妻地区について、旧火山に属する吾妻火山は主に安山岩や玄武岩質安山岩で構成され、東吾妻火山は現在まで活動が続いている。吾妻火山の大部分が火山表土の分解により地形が鈍化し、泥炭地が点在する緩傾斜地が多い一方で、東吾妻火山の中央部の浄土平とその周辺には荒涼とした火山景観が広がる。この東吾妻火山では浄土平を火口底とする馬蹄型の浄土平爆裂カルデラが形成されており、火口底には、吾妻小富士や桶沼の火砕丘や火口跡が見られる。東吾妻火山群に含まれる一切経山は噴火の歴史が比較的新しく、各種の火山地形や火山現象が見られる。安達太良火山は、おもに安山岩質の噴出物からなる小規模な火山が複合しており、鬼面山、箕輪山、鉄山、矢筈森、安達太良山、和尚山から構成される。矢筈森西側には沼ノ平付近を火口底とした沼ノ平爆裂火口が存在する。また、磐梯火山は爆裂地形が最も顕著な成層火山であり、明治 21 年の大噴火は後に</p>	<p>(1) 景観の特性</p> <p>ア 地形、地質</p> <p>(※項目無し)</p>

変更後	変更前
<p>磐梯式噴火と名づけられ、世界的にも著名にも著名である。磐梯火山の地形的特徴として、南北から見た山容が異なることが挙げられ、猪苗代湖から望む磐梯山南側の山容は典型的な成層火山の様子を持つが、北側から望む磐梯火山は大磐梯山と櫛ヶ峰の前面に発達する大きくえぐれたカルデラが展開しており、火山体の成長と崩壊を繰り返してきたことを伺わせる。磐梯火山の周辺には大噴火により形成された爆発型の馬蹄形カルデラ地形の他、<small>ひばらこ</small>松原湖、<small>おのわこ</small>小野川湖、<small>あきもとこ</small>秋元湖の三大堰止湖をはじめ、その水色の変化の美しさで知られる五色沼といった我が国有数の火山性湖沼群が存在する。さらに、この磐梯火山は明治 21 年の大噴火以前にも、山体崩壊が発生したと考えられる流れ山地形がいくつか確認されており、磐梯火山南西から猪苗代湖、会津盆地にかけての広い範囲に分布する岩屑なだれは、翁島泥流または翁島岩屑なだれ堆積物と呼ばれ、地溝性の猪苗代盆地の河川を堰き止め、猪苗代湖を形成したと考えられている。</p> <p>イ 植生・野生生物</p> <p>磐梯吾妻地区は火山活動の影響を受け、アカマツやススキ、イタドリ群落等の火山荒原植生が広く分布し、オオシラビソを主とする針葉樹林の原生林が広がる。磐梯山や吾妻連峰の上部には高山植物群落及び風衝草原が見られ、磐梯山西方の雄国沼にはミズバショウ等豊富な湿原植物が群落を成し、ニッコウキスゲ、リュウキンカ、コバイケイソウ、ヒオウギアヤメ等が見られる。浄土平周辺では、火山の影響により乾燥地と湿潤地、その中間の適潤</p>	<p>イ 植生・野生生物 (※項目無し)</p>

変更後	変更前
<p>地とに区別され、乾燥地ではススキ、コメススキ、ミネヤナギなどが見られ、湿潤地ではワタスゲ、ガンコウラン、岩塊の多い適潤地では、イワカガミ、ハクサンチドリ、イソツツジなどが見られる。吾妻山の山腹には、ミズナラ、ブナ、キタゴヨウ、オオシラビソ、コメツガ、ヒメコマツ等の森林が広がる他、高所ではガンコウラン、ミネズオウ、コケモモ、クロマメノキ等の風衝草原や雪田草原等が見られる。猪苗代地区は、湖岸の植生はアカマツが主で、北側湖岸には学術的に貴重とされているミズスギゴケ群落がある。磐梯吾妻地区は、日本を代表する野鳥の生息地として知られ、クマタカ、オオタカ、ハヤブサ等の猛禽類の生息も確認されている。哺乳類はツキノワグマ及びニホンカモシカの他、ニホンザルやヤマネ等が分布する。また、猪苗代湖の湖水は酸性であり、水生生物の種類は少なく、コイ、フナ、ウグイ等が生息している。冬季にはカモ類及びハクチョウ類が渡来すること知られ、コハクチョウは毎年2千羽以上が渡来する。</p> <p>ウ 自然現象 磐梯吾妻地区においては、活発な火山活動を背景に、^{しらぶ}白布、^{しのぶ}信夫高湯、土湯、^{ぬまじり}沼尻等の数々の温泉が点在している。また、一切経山の火口の大穴の噴気、猪苗代湖のしぶき氷、吾妻小富士の雪形（雪うさぎ）が知られている。</p> <p>エ 文化景観</p>	<p>ウ 自然現象 （※項目無し）</p> <p>エ 文化景観</p>

変更後	変更前
<p>磐梯吾妻地区においては、猪苗代湖の上戸取水口から取水して安積平野を灌漑する安積^{あさか}疏水^{すい}がある。また、吾妻山は神仏の宿る山として古くより山岳信仰の地とされており、中吾妻山の吾妻山大権現（吾妻山神社）が信仰の中心となっている。</p> <p>(2) 利用の現況</p> <p>本公園の利用は、磐梯山や安達太良山などでの登山、浄土平の吾妻小富士や裏磐梯の五色沼をめぐる自然探勝、観光山岳道路として整備されている磐梯吾妻スカイラインや磐梯山ゴールドラインでのドライブ、裏磐梯スキー場や猪苗代スキー場、安達太良高原スキー場等におけるスキースノーボード、火山活動を背景とした高湯温泉や土湯温泉等における温泉入浴や宿泊、また、猪苗代湖におけるカヤック・ボートでの遊覧、湖水浴やキャンプ、桧原湖におけるカヤック・ボートでの遊覧、キャンプ、ワカサギの穴釣り、裏磐梯でのエコツアー等があげられる。磐梯山や猪苗代湖周辺は首都圏からのアクセスが良く、特に裏磐梯は磐梯高原とも呼ばれ、五色沼や雄国沼湿原等の国内有数の美しい景観地を有しており、多くの利用者が訪れる。また、磐梯吾妻スカイラインの中間地点にある浄土平は、自然探勝路の整備が充実しており、吾妻小富士のお鉢廻りや、初夏にかけて多彩な高山植物の鑑賞の他、近くに野営場も整備されていることから周辺の自然探勝の拠点として利用されている。平成 27 年には、本公園に 705 万人の利用者が訪れており、主な利用拠点である磐梯山の利用者は平成 28 年の調査では約 2 万 4 千人、五色沼が約 14 万人、雄国沼</p>	<p>(※項目無し)</p> <p>(2) 利用の現況 (※項目無し)</p>

変更後	変更前																																			
<p>が約 8 千人となっている。</p> <p>(3) 社会経済的背景</p> <p>ア 土地所有別 本公園は、国有地 50,805ha、公有地 893ha、私有地 16,517ha であり、国有地の公園全体に占める割合が大きい。</p> <p>イ 人口及び産業 本公園区域に関係する各市町村の人口及び世帯数は、次の通りである（平成 30 年 3 月 31 日現在）。国立公園とかわりの深い産業としては登山や温泉、スキー等のレクリエーションを利用した宿泊業や観光業が挙げられる。</p> <table border="1" data-bbox="790 1142 1324 1915"> <thead> <tr> <th>県名</th> <th>市町村名</th> <th>世帯数 (戸)</th> <th>人口 (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="14">山形県</td> <td>米沢市</td> <td>32,433</td> <td>81,125</td> </tr> <tr> <td>福島市</td> <td>122,130</td> <td>280,002</td> </tr> <tr> <td>会津若松市</td> <td>51,268</td> <td>119,681</td> </tr> <tr> <td>郡山市</td> <td>139,698</td> <td>324,423</td> </tr> <tr> <td>喜多方市</td> <td>16,688</td> <td>47,662</td> </tr> <tr> <td>二本松市</td> <td>19,871</td> <td>55,240</td> </tr> <tr> <td>安達郡大玉村</td> <td>2,800</td> <td>8,670</td> </tr> <tr> <td>耶麻郡北塩原村</td> <td>1,071</td> <td>2,816</td> </tr> <tr> <td>耶麻郡磐梯町</td> <td>1,199</td> <td>3,534</td> </tr> <tr> <td>耶麻郡猪苗代町</td> <td>5,396</td> <td>14,481</td> </tr> </tbody> </table>	県名	市町村名	世帯数 (戸)	人口 (人)	山形県	米沢市	32,433	81,125	福島市	122,130	280,002	会津若松市	51,268	119,681	郡山市	139,698	324,423	喜多方市	16,688	47,662	二本松市	19,871	55,240	安達郡大玉村	2,800	8,670	耶麻郡北塩原村	1,071	2,816	耶麻郡磐梯町	1,199	3,534	耶麻郡猪苗代町	5,396	14,481	<p>(3) 社会経済的背景</p> <p>ア 土地所有別 (※項目無し)</p> <p>イ 人口及び産業 (※項目無し)</p>
県名	市町村名	世帯数 (戸)	人口 (人)																																	
山形県	米沢市	32,433	81,125																																	
	福島市	122,130	280,002																																	
	会津若松市	51,268	119,681																																	
	郡山市	139,698	324,423																																	
	喜多方市	16,688	47,662																																	
	二本松市	19,871	55,240																																	
	安達郡大玉村	2,800	8,670																																	
	耶麻郡北塩原村	1,071	2,816																																	
	耶麻郡磐梯町	1,199	3,534																																	
	耶麻郡猪苗代町	5,396	14,481																																	

変更後		変更前	
ウ 権利制限関係 (ア) 保安林 (国有林)		ウ 権利制限関係 (※項目無し)	
種類 水源かん 養	位置	重複面積 (ha)	指定年月日
	山形県米沢市地 内	3,730.8	明治 35.9.18
	福島県福島市地 内	6,180.5	明治 39.10.22 他
	福島県郡山市地 内	868.2	明治 40.9.19
	福島県喜多方市 地内	240.0	昭和 2.3.2 他
	福島県二本松市 地内	750.7	昭和 45.8.21 他
	福島県安達郡大 玉村地内	936.0	昭和 45.8.21
	福島県耶麻郡北 塩原村地内	7982.1	大正 6.11.26 他
	福島県耶麻郡猪 苗代町地内	5548.0	大正 6.11.26 他

変更後		変更前	
土砂流出 防備	山形県米沢市地内	3,980.0	明治 35.9.18
	福島県福島市地内	578.5	明治 37.3.24 他
	福島県郡山市地内	57.2	大正 6.11.26 他
	福島県安達郡大玉村地内	11.7	平成 4.1.21
	福島県耶麻郡磐梯町地内	223.9	昭和 37.2.19 他
	福島県耶麻郡猪苗代町地内	308.8	昭和 37.2.19
	福島県福島市地内	6.4	大正 2.8.14 他
	福島県二本松市地内	1.2	大正 8.2.24
	山形県米沢市地内	59.3	昭和 58.5.11
	福島県二本松市地内	166.5	昭和 56.1.31
公衆の保健	福島県耶麻郡北塩原村地内	257.0	昭和 58.10.17 他
	福島県二本松市地内	1.9	平成 4.1.21
落石防止			

変更後		変更前	
水源かん養 公衆の保健	福島県福島市内	1,384.3	明治 39.10.22 他
	福島県郡山市内	9.7	明治 40.9.19
	福島県二本松市 地内	616.1	昭和 45.8.21 他
	福島県耶麻郡北 塩原村地内	253.9	昭和 45.2.4
	福島県福島市内	8.4	明治 37.5.28
土砂崩壊 防備 公衆の保健			
(民有林)			
水源かん養	山形県米沢市内	3,284.4	明治 45.7.3
	福島県福島市内	142.4	明治 39.10.22
	福島県喜多方市 地内	1,044.1	大正 14.4.22
	福島県耶麻郡北 塩原村地内	553.7	昭和 35.5.28

変更後		変更前	
土砂流出 防備	福島県耶麻郡磐梯町地内	896.3	昭和 5.4.22
	福島県耶麻郡猪苗代町地内	673.3	昭和 31.1.12
	山形県米沢市地内	257.3	明治 35.9.23
	福島県福島市内地内	335.6	大正 2.2.5
	福島県郡山市地内	0.3	平成 18.6.8
	福島県二本松市地内	8.7	大正 4.11.15
	福島県耶麻郡北塩原村地内	79.0	平成 8.4.8
	福島県耶麻郡猪苗代町地内	256.3	大正 9.4.17
	福島県郡山市地内	0.6	昭和 41.12.28
	福島県耶麻郡猪苗代町地内	3.2	平成 27.5.27
	山形県米沢市地内	63.8	昭和 57.2.24
	福島県会津若松市地内	0.8	昭和 56.1.13
土砂崩壊 防備			
公衆の保 健			

変更後		変更前	
	福島県喜多方市 地内	149.1	昭和 51.12.17
	福島県耶麻郡猪 苗代町地内	108.5	昭和 54.2.6
雪崩危険 防止	山形県米沢市地 内	3.2	昭和 48.12.10
風致	福島県郡山市地 内	0.1	昭和 26.7.14
	福島県会津若松 市地内	2.2	不明
防風	福島県郡山市地 内	15.3	大正 5.4.12
	福島県耶麻郡猪 苗代町地内	29.6	明治 36.9.23
	福島県郡山市地 内	0.9	明治 36.2.9
落石防止	福島県耶麻郡猪 苗代町地内	0.7	明治 36.9.12
土砂流出 防備 公衆の保 健	山形県米沢市地 内	124.7	大正 4.3.13
公衆の保 健	福島県郡山市地 内	7.3	平成 7.6.6

変更後		変更前	
干害防備			
(イ) 鳥獣保護区 (県指定)			
保護区名	位置	重複面積 (ha)	指定年月日
吾妻	山形県米沢市	4,650.9	昭和 57.11.1
磐梯ゴール トライン鳥獣 保護区	福島県耶麻郡磐 梯町地内	282.5	昭和 49.11.1
猪苗代鳥 獣保護区	福島県耶麻郡猪 苗代町、会津若松 市及び郡山市地 内	10,417.7	昭和 29.11.10
沼尻鳥獣 保護区	福島県耶麻郡猪 苗代町地内	0.8	昭和 47.11.1
前ヶ岳鳥 獣保護区	福島県安達郡大 玉村及び二本松 市地内	180.2	昭和 49.11.1
表磐梯鳥 獣保護区	福島県耶麻郡猪 苗代町	333.3	昭和 57.11.1

変更後		変更前	
吾妻山鳥獣保護区	福島県福島市及び耶麻郡猪苗代町地内	5,843.6	平成 11.11.1
裏磐梯鳥獣保護区	福島県耶麻郡北塩原村及び耶麻郡猪苗代町地内	17903.0 (うち特保 3,440.3)	昭和 56.11.1
(ウ) 史跡名勝天然記念物			
区分	名称	位置	指定年月日
国指定特別天然記念物	ニホンカモシカ	区域定めず	昭和 30.2.15
国指定天然記念物	吾妻山ヤエハクサンシヤクナゲ自生地	福島市庭坂字大平・神ノ森・蓬平地内	大正 12.3.7
	雄国沼湿原植物群落	福島県耶麻郡北塩原村地内	昭和 32.10.30
	猪苗代湖ミズスギゴケ群落	福島県耶麻郡猪苗代町地内	昭和 10.12.24
	猪苗代湖のハクチョウおよびその渡来地	福島県耶麻郡猪苗代町地内	昭和 47.2.9
	ヤマネ	区域定めず	昭和 50.6.26

変更後			変更前	
	オジロワシ	区域定めず	昭和 45. 1. 22	
	ヒシクイ	区域定めず	昭和 46. 6. 28	
	マガシ	区域定めず	昭和 46. 6. 28	
県指定 天然記念物	安達太良山ヤエ ハクサンシヤク ナゲ自生地	福島県福島市 地内 福島県二本松 市地内 福島県耶麻郡 猪苗代町地内	昭和 30. 2. 4	

4 変更する公園区域

磐梯朝日国立公園の区域の一部を次のとおり変更する。

(表3：公園区域(陸域)変更表)

番号	区分	変更部分の区域	変更理由	面積 (ha)						
1	拡張	山形県米沢市関の一部	公園区域の明確化を図るために公園区域の一部を拡張する。	1 <table border="1"> <tr><td>国</td><td>—</td></tr> <tr><td>公</td><td>—</td></tr> <tr><td>私</td><td>1</td></tr> </table>	国	—	公	—	私	1
国	—									
公	—									
私	1									
2	拡張	福島県福島市土湯温泉町の一部	公園区域の明確化を図るために現道に合わせて公園区域の一部を拡張する。	0 <table border="1"> <tr><td>国</td><td>0</td></tr> <tr><td>公</td><td>0</td></tr> <tr><td>私</td><td>—</td></tr> </table>	国	0	公	0	私	—
国	0									
公	0									
私	—									
3	削除	山形県米沢市関の一部	公園区域の明確化を図るために公園区域の一部を削除する。	△0 <table border="1"> <tr><td>国</td><td>—</td></tr> <tr><td>公</td><td>—</td></tr> <tr><td>私</td><td>△0</td></tr> </table>	国	—	公	—	私	△0
国	—									
公	—									
私	△0									
4	削除	福島県郡山市湖南町の一部	公園区域の明確化を図るために公園区域の一部を削除する。	△0 <table border="1"> <tr><td>国</td><td>—</td></tr> <tr><td>公</td><td>—</td></tr> <tr><td>私</td><td>△0</td></tr> </table>	国	—	公	—	私	△0
国	—									
公	—									
私	△0									
5	削除	福島県喜多方市内 国営津森森林管理署 386 林班の一部	公園区域の明確化を図るために公園区域の一部を削除する。	△3 <table border="1"> <tr><td>国</td><td>△3</td></tr> <tr><td>公</td><td>—</td></tr> <tr><td>私</td><td>—</td></tr> </table>	国	△3	公	—	私	—
国	△3									
公	—									
私	—									

番号	区分	変更部分の区域	変更理由	面積 (ha)
6	削除	福島県喜多方市 熊倉町の一部	公園区域の明確化を図るために公園区域の一部を削除する。	△3 国 公 私
7	削除	福島県二本松市大関の一部	公園区域の明確化を図るために公園区域の一部を削除する。	△2 国 公 私
8	削除	福島県耶麻郡北塩原村大塩の一部	公園区域の明確化を図るために公園区域の一部を削除する。	△1 国 公 私
9	削除	福島県耶麻郡猪苗代町 蚕養の一部	公園区域の明確化を図るために公園区域の一部を削除する。	△2 国 公 私
10	削除	福島県耶麻郡猪苗代町葉山の一部	公園区域に接する区域と一体的な集落を形成し、国立公園としての資質が乏しく、公園区域として存続させる意義が薄れた箇所について、区域の明確化と併せて公園区域の一部を削除する。	△3 国 公 私
11	削除	福島県耶麻郡猪苗代町翁沢の一部	公園区域に接する区域と一体的な集落を形成し、国立公園としての資質が乏しく、公園区域として存続させる意義が薄れたことから、公園区域の一部を削除する。	△1 国 公 私

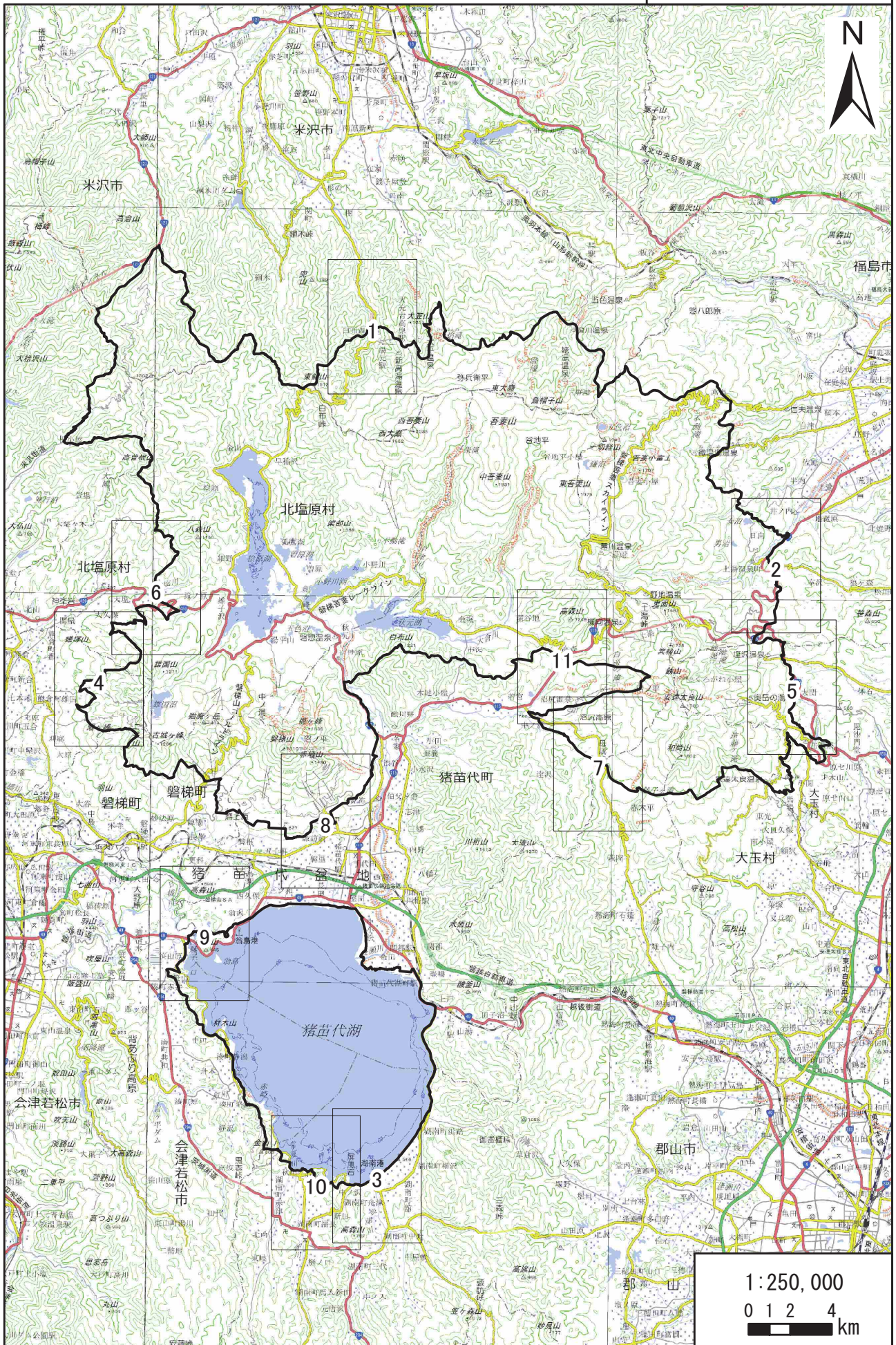
番号	区分	変更部分の区域	変更理由	面積 (ha)
12	—	福島県郡山市 湖南町の一部	区域線の明確化を図るため、既存区域線の凡例を変更する (現状、道路界となっているが、元々道路が存在しないため、 図上確定界へ変更する)。	— [国 公 私]
13	—	福島県郡山市 湖南町の一部	区域線の明確化を図るため、既存区域線の凡例を変更する (現状、道路界となっているが、元々道路が存在しないため、 谷界へ変更する)。	— [国 公 私]
14	—	福島県耶麻郡猪苗代町 蚕養及び若宮の一部	区域線の明確化を図るため、既存区域線の凡例を変更する (現状、見透し線界となっているが、より正確な見透し 線 (橋と鉄塔) 界へ変更する)。	— [国 公 私]

変更部分 面積計	△14 [国 公 私]
変更前 公園面積	68,229 [国 公 私]

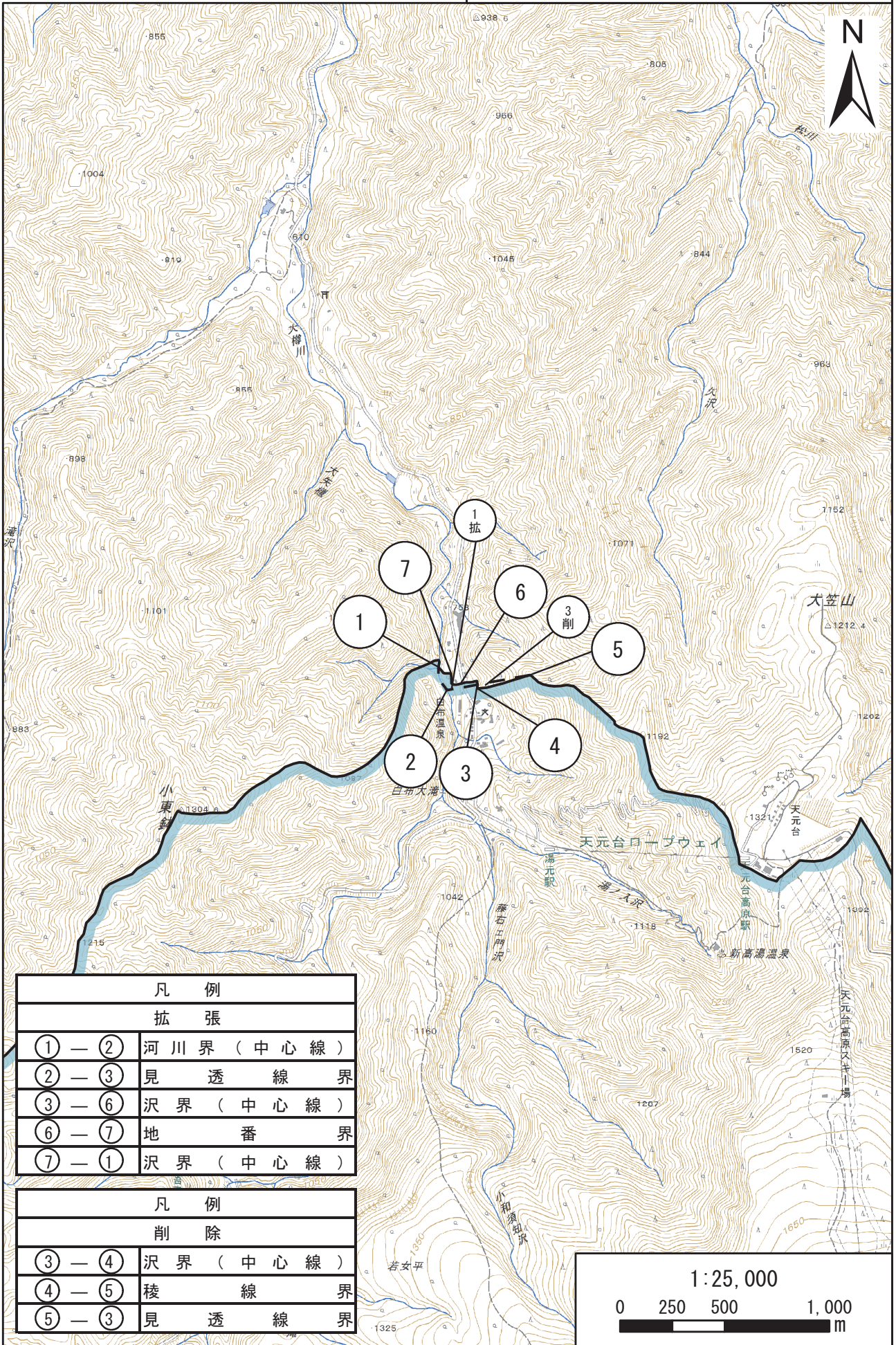
変更後 公園面積		68,215
	国	50,805
	公	892
	私	16,518

※端数処理により合計が一致しない。

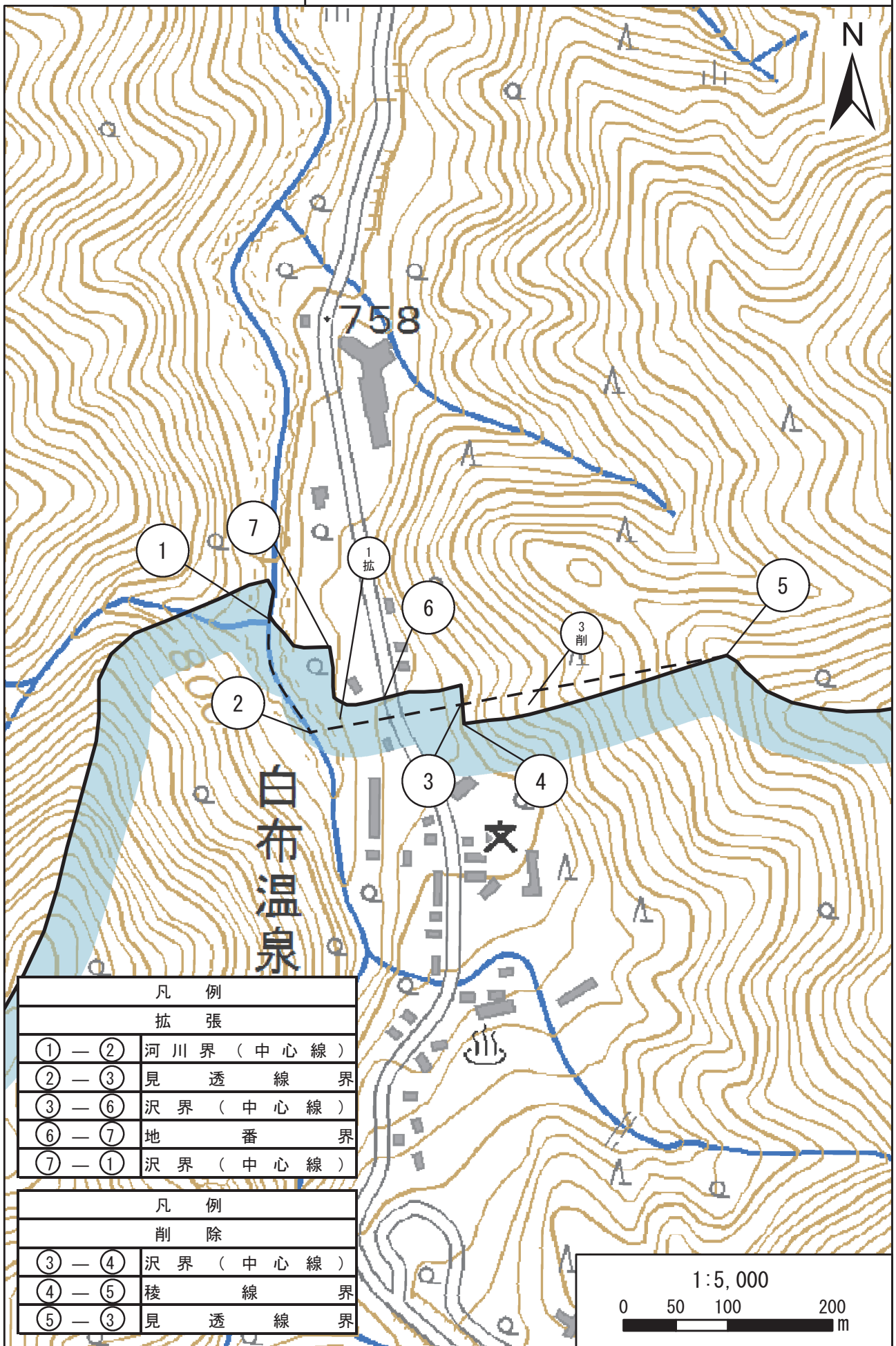
公園区域変更位置図



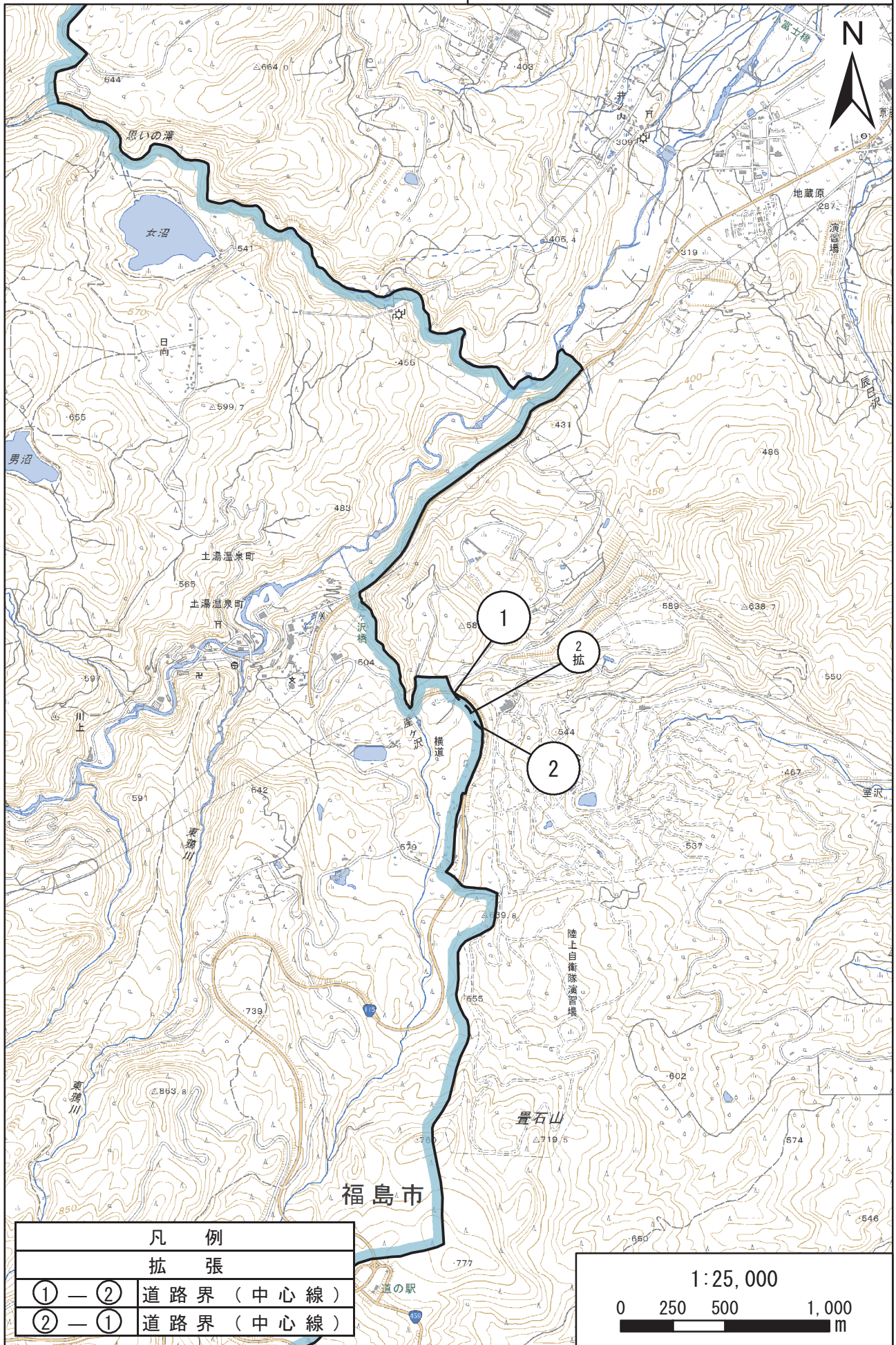
公園区域変更図1 米沢市関



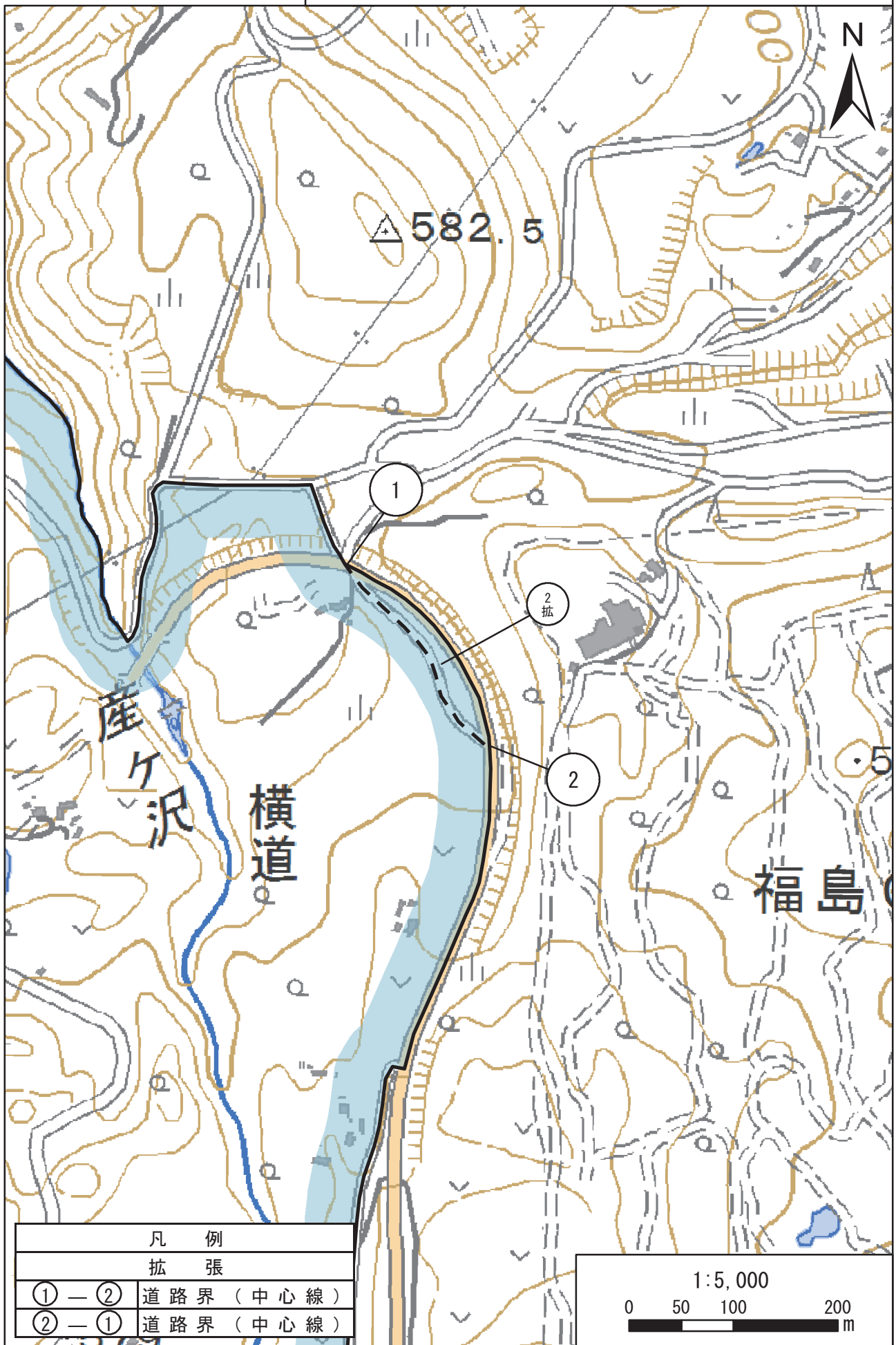
公園区域変更図1 副図 米沢市関(拡大図)



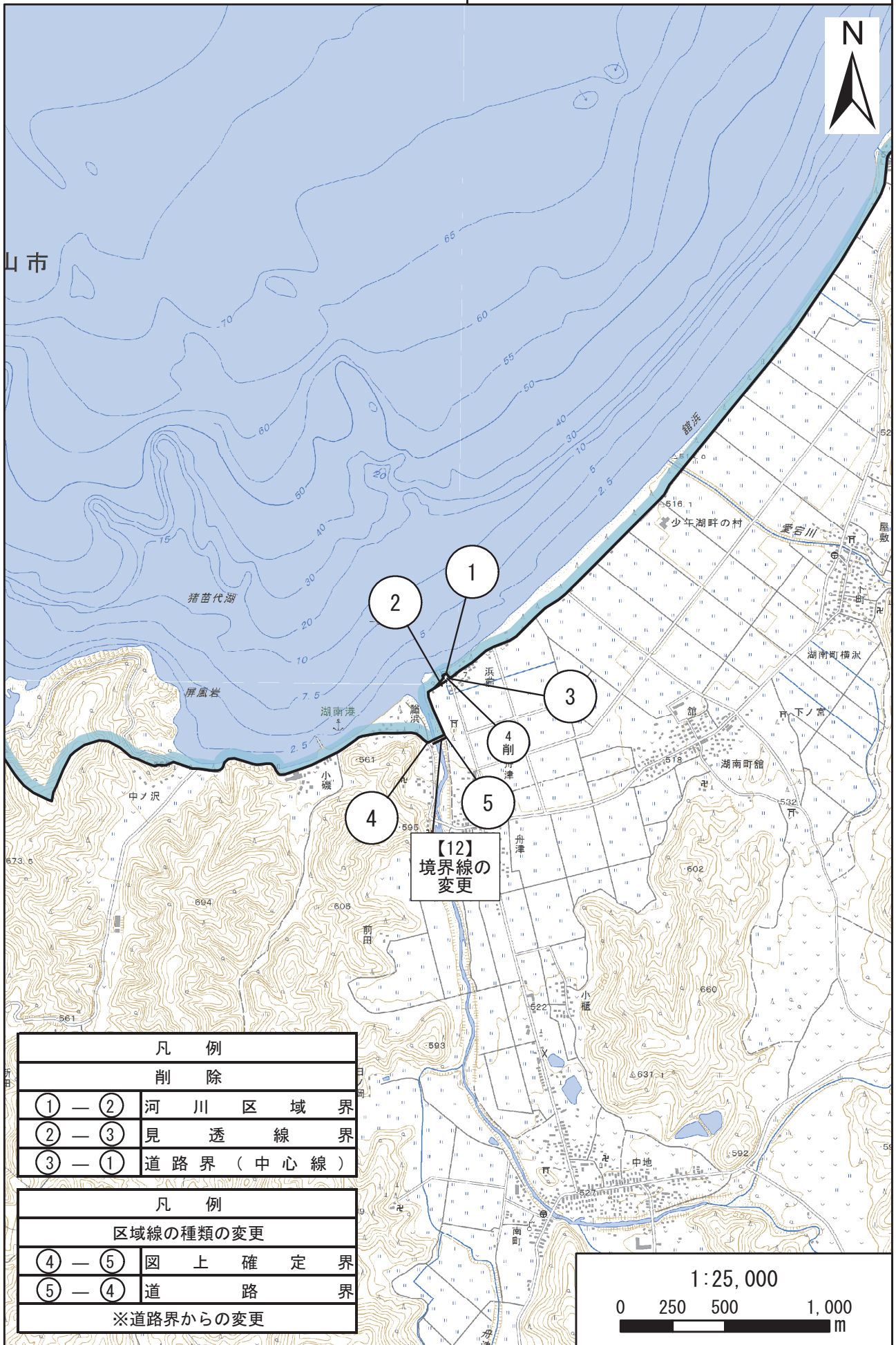
公園区域変更図2 福島市土湯温泉町



公園区域変更図2 副図 福島市土湯温泉町(拡大図)

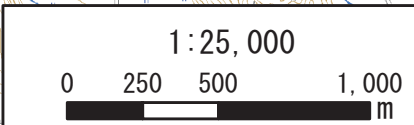


公園区域変更図3 郡山市湖南町



凡 例	
削 除	
① — ②	河 川 区 域 界
② — ③	見 透 線 界
③ — ①	道 路 界 (中 心 線)

凡 例	
区 域 線 の 種 類 の 変 更	
④ — ⑤	図 上 確 定 界
⑤ — ④	道 路 界
※道路界からの変更	



公園区域変更図3 副図 郡山市湖南町(拡大図)

